

会報 しんせき

第 27 号

平成25年4月16日

発行責任者

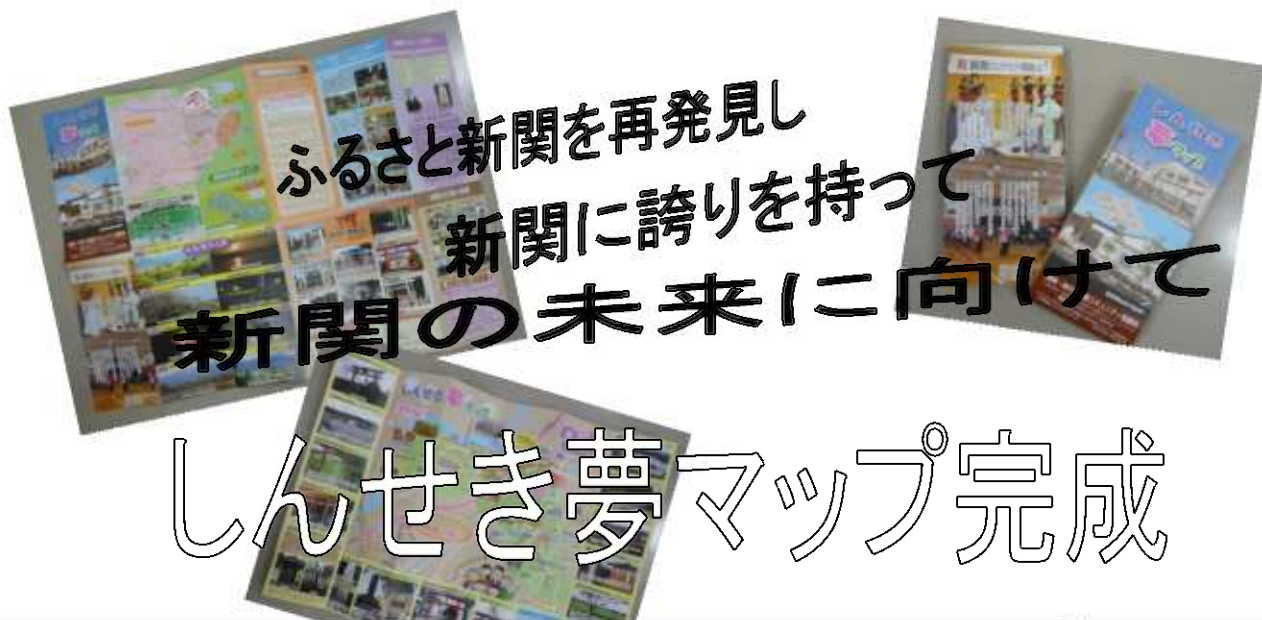
新聞コミュニティ協議会

会長 瀬戸 範彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新聞コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新聞コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



昨年は、地域のオリジナルソング「ふるさと新聞」が完成し、盛大に完成祝賀会(5月)を催したことはまだ記憶に新しいところです。そして、今年「しんせき夢マップ」が出来上がり皆様にお届けするにいたしました。

この「しんせき夢マップ」は、およそ1年8ヶ月の時間をかけて作成したものです。各自治会関係者からお話を伺うなどの資料収集会議や地域の歴史に詳しい大先輩からのご指導などを含め、21回もの編集会議を経て完成しました。

新聞地域の遺産(宝物)を掘り起こす⇒再発見する⇒記録に残し保存する⇒活用し郷土愛を育む⇒未来につながる架け橋とする。また、小学校児童の地域学習に役立ててもらおう。他地域の方から新聞を知ってもらう。…などを制作の目標に掲げ、手作りで作成。

マップ編集に当たり、各自治会の会長さんや地域のみなさん、新聞小学校、おひさま保育園から資料をいただきました。歴史等に詳しい渡辺譲さん(小口)、萬羽繁義さん(大関)、成澤勝男さん(岡田)、伊藤敏雄さん(羽下)から助言をいただきました。そして、編集委員の土田和男さん(下新)、長谷川隆さん(市新・編集委員長)・天野清さん(小口)、渡辺和典(新聞コミ協事務局)、佐藤武晴さん(新津地区公民館)の方々からは時間を忘れて取り組んでいただきました。

また、今回のマップ作製は、新津地区公民館から格段のご支援をいただきました。多くの皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

さあみなさんマップを手にとり新聞を歩ませよう！
桜が咲きほころびます。新緑がまばゆい季節となります。

新聞コミュニティセンターではいろいろな趣味や健康づくりなど各種団体・サークルが意欲的に活動しています。また、催しものや会議等にも利用されています。

新聞コミュニティセンター-利用団体・サークル



団体区分	団体名	主たる活動日	代表者名（敬称略）
レクダンス	楽しい輪	火曜午前 水曜夜間	土田ミサヲ
レクダンス	フレンズ	木曜夜間	大原正美
フラダンス	ククイ	火曜夜間	繁野美鈴
太極拳	癒しの舞	木曜午前	落合久子
毛糸編み	毛糸だま	木曜午前	古山智恵子
お茶会	愛茶会	不定期	小島ヒデ
空手	新聞空手道	木曜夜間	土田 宏
粘土細工	パンフラワー	水曜午前	小島寿子
合唱	ハート&ドリーム	金曜夜間	山田 稔
パレエ	パレエストレッチ	金曜夜間	村田かおり
よさこい	新聞ソーラン 復刻会	不定期	土田純一
カラオケ	大関さくら会	不定期	土田与一郎
卓球	スマッシュ	水曜午前 日曜夜間	土田徳栄
新舞踊	潮門流堂	不定期	傳田カズ
書道教室	毛筆に親しむ会	主に土曜日	（新聞コミ協主催）
その他、会議・会合を主に 10 団体ほどが登録されています			



◇団体登録や入会ご希望の方は、新聞コミセンにお問い合わせください。
見学されたい方は、直接新聞コミセンにお出で下さい。
◇新聞コミセンには、小学校児童も学習の場として訪れサークルの皆さんと触れ合ったり、施設のことを学んだりしています。



新聞コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。

しんせき夢マップ完成

記念式典 地域探索 祝賀会



羽生秋葉区長様のご祝辞

3月28日、「しんせき夢マップ」の完成を祝う記念式典を行い、新聞コミ協瀬戸会長の謝辞の後、羽生隆夫秋葉区長さまからご祝辞をいただきました。

その後、マップを見ながら地域探索(今回は関係者のみ)。マイクロバス内では、編集委員の土田和男さんに説明役をお願いし、現地で自治会の皆さんからガイド役をしていただきました。小口観音堂では、渡辺譲さんから観音様の由来などを話していただき、また、神明宮役員のご協力により参加者から「百万編」を体験してもらいました。

地域住民でありながら意外と知らないことが多くあったという声が聞かれました。「灯台元暗し」でしょうか。

地域めぐりを終えてから記念祝賀会を新聞コミュニティセンターで行い完成を祝いました。



六郷八幡宮本堂影刻見学



小口観音堂で百万編体験

皆さまのおかげでマップが完成しました。しかし、これで終わりではありません。ここからがスタートです。今後は、地域を知ってもらうためにも地域探索ツアーなどを計画していきますので、多数のご参加をお願い申し上げます。新聞を離れて生活していただける方にもマップをご紹介いただければ幸いです。

こんなお葉書を頂戴しました

今日三月三十日(土)の新潟日報で新聞コミ協の「夢マップ」製作のことが報じられておりました。先のふるさと新聞二曲や今回の「しんせき夢マップ」に新聞ありきの心意気が伝わってまいります。ふるさと心の醸成なくして地域づくりや町づくりはありません。自分達の住む地域に誇りをもつことこそ地域づくりの原点です。それを新聞地区は言葉や掛け声だけでなく実践躬行しておられることに讃辞を送ります。新聞コミ協の益々の発展を祈り、期待申し上げます。秋葉区感激住民



大間から小口に続く織女の道



記念祝賀会

平成
24年度

新関地区福祉懇談会開催



去る2月27日、新関地区福祉中間懇談会が開催されました。(主催：秋葉区社会福祉協議会

秋葉区福祉健康課・新関地区社会福祉協議会)

これは、秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づいて行われているもので、平成21年度に秋葉区11のコミュニティ協議会一斉に第一回目の懇談会が開かれ、今回は6年計画の中間検討という位置づけで行われました。

(出席者：自治会役員・民生委員・新関コミ協他)

◆秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画◆

基本目標

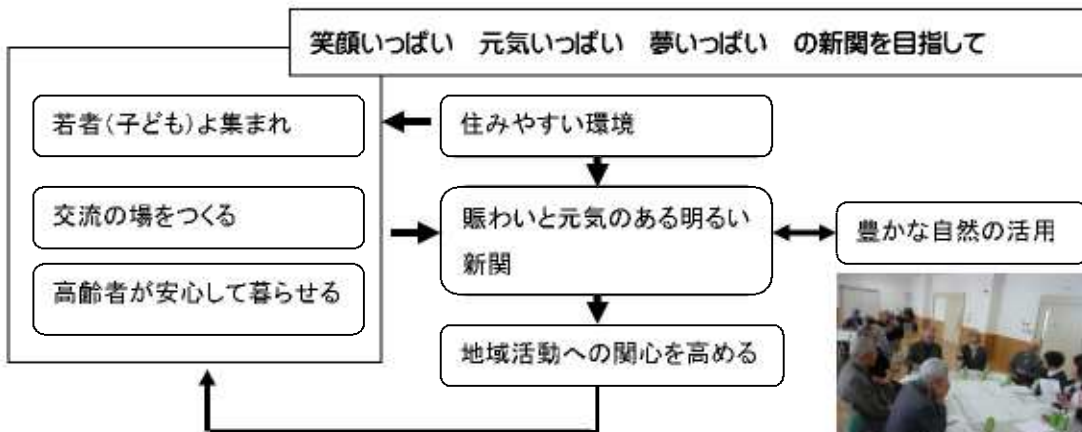
人がつながり ともに支えあうやさしいまち

基本方針

- 1 人がつながり交わるまちづくり
- 2 活力あるいきいきとしたまちづくり
- 3 健康で豊かなまちづくり
- 4 安全で安心な住みよいまちづくり



3年前 平成21年度に新関地域で話し合われた内容を図で表すと



今回の中間検討会では、

過去3年間においては、笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい の新関を目指し新関コミ協を中心にいろいろな活動が展開され、順調に推移しているという評価でした。

その上で、今後の課題として、

- 高齢化現象の対応
- 防災対策の継続・防災意識の醸成、高揚
- 外部の人の呼び込み、宣伝、広報活動
- 人とのかつなりの重視(世代間交流)
集落ごとに 隣近所 若者 子供が・・・
- コミ協任せでなく地域でできることは何か

などが、ワークショップ形式で熱心に検討され、班ごとに代表が発表しました。

この中で、特に印象に残ったのは、交通手段についての提言でした。

◆集落が点在している新関地域においては、交通手段の確保が極めて重要であり大きな課題である。

また、高齢化が進む中、いろいろなイベントをやるにしても足がなく移動できない。マイクロバスなどの活用は急務である。行政の英断を期待する。